

SSKA

東腎協

2007年5月27日

No.167

NPO東腎協第2回総会議案集

東腎協35周年記念講演「東京都に於ける透析医療の現状と将来」

講師：杏林大学学長 長澤 俊彦先生



特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

事務局・☎170-0005 豊島区南大塚2-42-6 信友大塚ビル6F

郵便振替口座 00150-0-128390 ☎03-3944-4048 FAX03-5940-9556

E-mail info@toujin.jp ホームページ <http://www.normanet.ne.jp/~touzin/>

NPO法人東京腎臓病協議会第2回総会のご案内

NPO東腎協定款第24条により、第2回総会を左記のとおり「フィオーレ東京」において開催します。

総会は、会員であれば誰でもご出席いただけますが、審議事項の採決は、代議員である正会員で採決致しますので、ご了承お願い致します。正会員と一般会員の席は分けません。患者会の方々同士でござ席いただけます。

会員・家族のみなさん、ぜひお誘いのうえご参加下さい。

記

日時 2007年5月27日(日) 午後12時30分開場

※総会は午後1時から行われます。

次第 NPO法人東腎協第2回総会(午後1時から4時から)

記念講演 「東京都に於ける透析医療の現状と将来」

講師 杏林大学学長 長澤 俊彦 先生

会場 社会保険会館「フィオーレ東京」大ホール「ローズルーム」

TEL 03(5292)6510

患者会正会員さんには、ポスターを同封した返信ハガキで参加人数をお知らせください。

※参加者はこの議案集を必ずご持参下さい。

交通

●都営大江戸線・東新宿駅A2出口より、徒歩1分

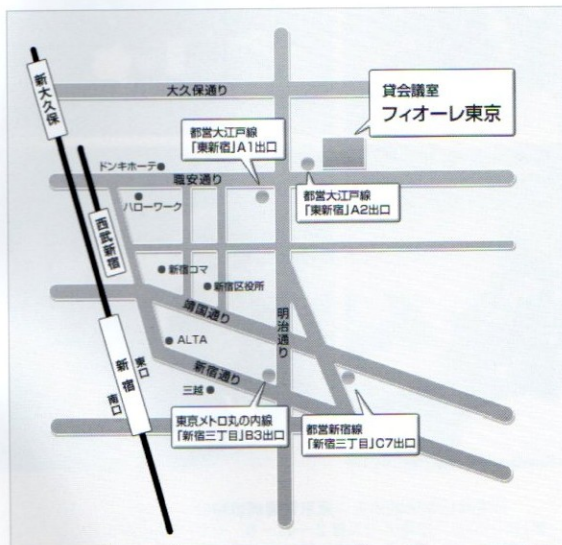
●都営新宿線・新宿三丁目C7出口より、徒歩15分

●東京メトロ丸の内線・新宿三丁目B3出口より、徒歩15分

●西武新宿線・西武新宿駅北口より、徒歩15分

駐車場

利用できませんので、公共機関でおいでください。



NPO法人東京腎臓病協議会

第2回総会式次第

開会あいさつ

会長あいさつ・黙祷

来賓あいさつ

祝電・メッセージ紹介

議長団選出

議事録署名人選出

報告事項

・正会員参加人数確認

・総会の成立確認

審議事項

下段参照

協議事項

・総会メッセージ

・功労者表彰

・透析35年表彰

閉会あいさつ

審議事項

第一号議案

平成18年度事業報告及び

収支報告

会計監査報告

第二号議案

平成19年度事業計画及び

収支予算

第三号議案

定款変更について

第四号議案

役員報酬及び

事務局運営について

第五号議案

役員選出について

東腎協設立35周年記念講演

「東京都に於ける透析医療の現状と将来」

講師 杏林大学学長

長澤 俊彦 先生

【経歴】

・昭和31年3月 東京大学医学部卒業

・昭和32年4月 東京大学第三内科入局

・昭和51年12月 杏林大学第一内科主任

教授・透析センター長

・平成4年4月 杏林大学医学部長

・平成10年4月より杏林大学学長

現在に至る

【学会】

・名誉会員

・日本内科学会、日本腎臓学会

・功労会員

・日本透析医学会、日本リウマチ学会

・日本アレルギー学会

【社会活動】

・二多摩腎疾患治療医会会長（S55年）

・東京都腎不全対策協議会会長（H2年）

・東京都難病対策審査会会長（H9年）他

二〇〇六

（平成18）年度事業報告

期間 2006年4月1日～2007年3月31日

昨年度は特定非営利活動法人格をとって2年目の本格的始動の年でした。言うまでもなく、非常に

厳しい情勢の中、診療報酬の改定による透析医療費の引き下げ、その中でもエリスロポエチンの包括化、夜間・休日加算の減点は、透析患者の社会復帰に逆行するものです。また障害者自立阻害法とまで言われる自立支援法の施行が、私たちの反対運動にもかかわらず強行されました。

そんな状況の変化による会員数の減少、さらに平成20年4月から施行される後期高齢者医療制度の施行と透析患者が高齢化を向かえます。私たちの医療と生活の後退が危惧されます。そんな状況の中で予定された事業に今期も取り組みましたので、ここに報告いたします。

1. 腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業

①「腎臓移植キャンペーン」・臓器提供意思表示カードの配布

10月1日に臓器連主催の「救え！いのち」を合言葉に全国展開してきた全国リレーシンポジウムに協力、80人が12時に水谷橋公園に集合して、パレードに参加しました。銀座さくら通りを進み、外堀通りで左折し、数寄屋橋交差点を通過、ホテル日航前を右折して日比谷公園までのコースでした。会長の紹介で歌手の山川豊さんの参加を得て、街頭の人々の注目を浴び、青山学院プラスバンドの演奏もアピール度を上げました。その後、飯野ビル3階会議室でシンポジウムが開催され、次期国会において早く臓器移植法改正案の審議に入るよう世論を喚起するため、わが国の臓器移植の現状を訴えました。

私たちが支持している中山太郎議員等が提出した河野・福島案はA. 脳死に陥ったとき、本人が「生前、臓器提供の意思を示した場

合」だけでなく、「拒否の意思表示がなく、家族が承諾した場合」でも臓器提供が行える。

B. すべての臓器提供を活かせるように健康保険証やカード、運転免許証に臓器提供の意思表示欄を設ける。

というものです。現行法は移植禁止法に等しく、書面による本人の意思表示を必要とするために15歳未満での提供ができません。

また、同日に新聞報道された腎臓移植でも明らかにように移植提供腎の絶対数が少なく、そのために危険を犯し、莫大な費用をかけ海外での移植を求める患者が年齢を問わず後を絶たないのです。しかし、海外に行く機会を得られる患者はごく少数で資料によると、移植法が施行されてからの9年間で心臓・肝臓あわせて1万人以上の方が移植を受けられず亡くなっているということです。

私たち腎臓病患者は移植できなくとも厳しい自己管理が伴いはし

ますが、透析医療によって救命はされます。社会復帰までもできています。しかし、透析不適応症候群などや長期透析合併症などでそのQOLは甚だ痛手を受けます。移植は成功すれば真の治療として第二の人生を生きることができ、自分自身のため、社会貢献のためNPO東腎協は移植推進の事業を掲げています。

10月22日にNPO東腎協は東京都の共催を得て、上野恩賜公園の大噴水前で、(社)全腎協の第26回臓器移植普及推進キャンペーンの一環として、後援(社)日本臓器移植ネットワーク、協力NPO日本移植者協議会・臓器移植患者団体連絡会のもと、ティッシュと一体になった意思表示カードを7,000個を配布しました。ヘリウムガス風船は700個を配りました。参加人数は108人でしました。当日朝7時30分から担当の小関事務局長と岸里事務局員が用具を運搬し、東京都福祉保健局保健政

策部疾病対策課献血移植対策係大内係長・古川主事の参加により、公園事務所に通行証を提示し、テントを設営しました。また早く集合した役員と会員で意思表示カードの袋詰めを完了しました。午後1時から、榎原会長との挨拶に続き、福祉保健局保健政策部疾病対策課の笹井課長のご挨拶を賜りました。

その後NPO東腎協の会員を中心に前記の配布をしました。参加者は、疲れも出てくる中、ノベルティ入りの袋をぶら下げ、公園の中をあちろちろと意思表示カードを受け取ってくれそうな通行人を目指して歩き回りました。一人でも多くの人に移植の必要性を理解していただき、希望する人が移植できるよう、カード携帯者を増やすために、参加者は頑張りました。天候にも恵まれ、午後2時50分頃には終了しました。

後片付けは通行証による業者のテント回収と、用具の事務所への運搬のために自動車で公園内まで進入して、積み込みを終わりました。事務所に取りて一日を終わりました。

②「腎臓病を考える都民の集い」

を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見・早期治療を啓蒙する。

事業の名称である「腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業」の目的を遂行するため「第19回腎臓を考える都民の集い」は2月25日に総評会館で開催されました。参加者は276人でした。テーマは「いつかは透析といわれたら」として、①「自分にあ

った透析治療法を選ぶには」講師・聖路加国際病院腎臓内科医長・小松康宏先生、②「透析導入を遅らせるためには」講師・（財）船員保険せんば東京高輪病院 管理栄養士 徳永圭子先生に担当していただきました。その後パネルディスカッションとして、講演いただいた先生2人と患者の方（五十嵐さん、佐々木さん、渡邊さん）3人と、松村満美子様の座長で、意義ある会話を参加者に提供しました。最後には、低たんぱく米を販売している（有）エコ・ライス新潟よりお米と松村先生関連の著書をご提供頂き抽選会を行い、会場が盛り上がり閉幕しました。

③機関誌「東腎協」の発行

編集委員会では、No163号の

5月号からNo167号議案集まで、定期発行の継続を守りました。

各号発行の前に編集委員会を開催し、誌面構成など話し合いを重ねます。そして原稿作成や依頼などをして原稿を集めます。各員のレイアウトを決めて、入稿。その後、校正3度を経て、皆様のお手元に会報を届けています。この作業を行っています。

特集について、No163では「NPO法人を取得して」と題して小関事務局長から法人格取得の経過を掲載し会員に理解してもらいました。No164では東腎協解散式及びNPO東腎協第1回総会の模様をダイジェストでお届けしました。

No165では「会員さん訪問」が記念する第100回を迎えて、長期透析者の糸賀相談役に登場願いました。「透析と共に歩んで」「病気が人を育てる、命の大切さ、思いやり、生きる意味を教えてください」を3頁の特集で掲載して、その貴重な体験は好評でした。

またNo166では、「医療の特集を組んでおくつ整形外科院長、奥津一郎先生はじめ吉田綾先生、濱中一輝先生によります「透析患者

さんに発症する手根管症候群および肘部（ちゅうぶ）管症候群」に関して詳しく図解つきで解説していただきました。長期透析合併症である手根管症候群をはじめとする透析アミロイドーシスにより引き起こされる様々な整形外科的疾患については透析患者にも関心が高く有意義な特集になったと思います。

またNo166号からは、表紙を一部変更して、東腎協機関誌であると一目で分かるデザインに変更しました。

会報は会員皆様と東腎協を結ぶ重要な役割を担っています。これからも読み易い誌面作成や必要な情報を伝える努力を重ねていきます。

④ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病に対する意識の啓発を図る。

ホームページ委員会では東腎協のNPO法人取得を機にホームページをリニューアルし、知りたいた事が検索し易く、入会に結びつくような内容とすることを旨とし、また、東腎協がどのような活動をしているのかをより解り易くした

ホームページにするために、次のような分担を行い活動を行ってききました。

トップページの分類ではこれまで暫定的に「入会案内」「規約」「機関誌」「リンク」については掲載していますが、これらについては内容の確認と改良を行うものとなりました。尚、ホームページに掲載する機関誌については163号（NPO第1号）より表紙、目次、概要のみ掲載することとし、過去の機関誌自体は、PDFファイルにて希望する会員に配信する方式を検討することにした。また、新規に追加する項目として、「災害対策」「社会保障」「医療」について大分類を作成し、これまで掲載されてきた内容の概要版を作り、検索しやすいようなページにすることを目指しました。

しかし、これまでホームページに蓄積されてきた内容は膨大な量に及び、現在まだ整理がつかず、リニューアルが出来ない状態です。今後出来るだけ早い時期にリニューアルができるよう、作業を見直す必要があります。

このような状況ですが、「臓器移植推進キャンペーン」、「腎臓病

を考える都民の集い」については、広く一般市民にお知らせするため、イベント情報としてお知らせに掲載してききました。また、東腎協の事業として始めた「低たんぱく米」の広報・斡旋について、ホームページ上でも早速広告を始めました。しかし、これについては、

東腎協のホームページとして長年利用してきたノーマネットの利用規約に抵触することが判明したため、この広告は残念ながら取り止めとなりました。そこで、このような状況を打開するために、これまで利用してきたノーマネットは利用せずに、現在東腎協事務局がインターネット接続しているプロバイダーでもホームページを開設することが可能なので、来年度はそちらの方に移行して、広告が出来るようにしていきたいと考えています。その場合、東腎協ホームページのトップページのURLは <http://www.normanet.ne.jp/~tozai/> から <http://www.toujin.jp/> に変更になりますので予めお知らせしておきます。以上のように今年度は代わり映えのしないホームページとなってしまいましたが、ホームページが更新されるのを楽しみ

にしている会員さんもいらっしゃると思いますので、一部の担当者に負担が掛かるような体制を見直し、ホットなニュースを間髪いれず掲載できるような体制作りを今後は目指していきたいと考えています。

⑤ 広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する。

この事業については主にブロック交流会や青年層を対象とした活動によって対応してきました。一般市民の参加はまだまだですが、今後の取り組みによって、意義ある事業となると思われます。

ヘン各ブロック活動

北部ブロックでは、平成18（2006）年度は菊地理事がブロック長になりました。北部担当理事の人数は昨年の6名から5名へと減りました。

上期の活動は9月3日に、練馬区役所の東館にて「会員交流会」を開催し、18人が参加しました。NPO法人化の目的、患者会の継続的運営の問題点並びに、東腎協

最重点課題である会員拡大に向けた取り組みなど活発な意見交換が行われました。

下期の活動は10月22日に臓器移植キャンペーンが上野公園にて、開催され、北部からは理事と正会員の6人が参加しました。

今年度は1年を通して未組織施設の訪問を活発に実施し、会員拡大に重点を置いた活動でした。一人でも多くの方に会員になったいただけますよう会員の皆様のご協力をお願いします。

東部ブロック

2006（平成18）年度の活動は8月20日（日）足立区勤労福祉会館において第1回交流会を開催しました。2部構成で第一部は「医療制度改革等の改正について」の講演で講師は藤原東腎協副会長が務め、内容は診療報酬の改定、障害者自立支援法の話でした。2部は司会進行を戸倉副会長が務め、東部ブロック患者会別・会員数増減の折れ線グラフにて未組織施設への訪問と患者会を組織するシステム作りを考えたいなどの話がありました。残り時間は親睦・交流にあて自己紹介と患者会現況報告

がありました。参加者は会員30人、理事7人、合計で37人でした。

下期は2007(平成19)年2月4日江戸川区タワーホール船堀3F、307会議室において第2回交流会を開催しました。テーマは「災害時透析患者救助支援船検証航海」(水路利用)についてでした。

2部構成で1部は支援船検証航海に同乗した戸倉副会長の撮影したビデオ観賞と説明・乗船体験の感想でした。続いて小関事務局長から葛飾区NPOまちなみ育成会主催の災害時救助船(屋形船利用)の報告がありました。

また休憩後小関事務局長より診療報酬改定の話があり、エリスロポエチンの包括化や、夜間・休日透析の減額など、平成19年3月より生活保護受給者の医療費が障害者自立支援医療(旧更生医療)に移行、また、後期高齢者医療費制度が平成20年4月から発足することなどを話しました。その後、時間を兼ね質疑応答があり、無事交流内に終了しました。参加は会員19人、理事8人の合計27人でした。

中南部ブロック

中南部ブロックの活動は7月30日で南大塚地域文化創造館 第二会議室において22人の参加で中南部ブロック交流会準備会を開催しました。木下副会長の活動報告のあと久保ブロック長よりNPOの意義について説明があり、今後ますます厳しくなる様子をみせている医療・福祉事情を危惧する声が参加者からも聞かれました。また、災害時の対策についてもいろいろと意見交換がされました。

多摩部

2006(平成18)年11月12日武蔵野市民会館において、ブロックの学習会と交流会を開催しました。正会員(旧幹事)を含め、20人と理事5人の参加となりました。学習会では「腎性貧血治療への道のり」のビデオを見て、エリスロポエチンの開発を学びました。続いて、小関事務局長の「医療制度改革関連法について」と題した最近の激しい制度の変化及び今後の方向を学び、共に出席者から評価を受けました。

交流会では各患者会の諸々の現状報告がありました。他の3ブ

ロックでも問題になっている新規導入者に入会協力度のないことが、多摩ブロックでも全く同じ状況であり、我々の目標である会員拡大の前途に厳しさを感じました。それだけに、患者会正会員(旧幹事)の方々の苦勞を痛切に感じました。

その後の正会員の発言で、以前に行っていたようなブロック交流会ができなかつたのかとの提案がありました。再度足を固める意味でも、過去に評価された患者会交流会の内容を調べ、先輩諸氏に相談し、再スタートをすることが必要と痛切に感じました。また、会員の方々とできるだけ接することがつながらず、会員拡大活動の原点であるように感じました。今後はできるだけそのラインに沿って活動すべきと考えます。

〈2〉会員拡大施設訪問

会員拡大を目的とした施設訪問を月2、3回のペースで組織対策委員が分担して行いました。例としては4/1関川病院会員拡大施設訪問、患者会の深川橋賢友会の方で清湘会理事長訪問、4/22新葛飾病院会員拡大施設訪問、5/16 会員拡大施設訪問「哲仁会

井口病院」再訪問、5/21柳原健腎会総会、松和患者会新宿南口支部総会訪問、6/6久野クリニック院長訪問等が続けられました。夏の暑い間は休みでしたが、秋もコソッと組織対策委員が会員拡大を目指して訪問しました。この3/8にも井の頭クリニックと青梅かずみ台クリニックを訪問しました。

新設患者会は3箇所にとどまり、解散患者会の患者数をカバーできませんでした。しかし、会員数をグラフ化し、会員減少の経過を分析する糸口を理事会に提出しましたので、今後の方針に役立つと思います。

組織対策委員会としては、「既存患者会の会員維持拡大、患者会未組織施設への訪問等」を柱として、昨年度より施設訪問に特に力を入れ、東腎協の存在すら知らない透析患者がいる状況をなくそうと活動してきました。今年度は昨年度の結果を踏まえ、昨年訪問できなかった施設への訪問活動を引き続き行うと同時に、昨年の実績から施設側の協力はある程度得られるとの感觸を得ましたので、その施設の患者にどうアプローチし、

どのようにコミュニケーションをとっていくのかを検討する必要があります。また、会員が減少していき、既に既存の患者会についても、東腎協がどうサポートしていくのが課題となっていました。しかし、今年度についてはこの課題に対して有効な手立てを見つけたことが出来ずに過ぎってしまった一年でした。今年度も会員が増加している患者会もありますが減っている患者会の方が圧倒的に多く、減少傾向は止まらず全体としては減る一方です。患者会の運営がうまくいっており常に一定の会員を維持している患者会を見ても、やはり患者会同士の顔の見える交流がきちんと出ています。そのような交流がないと人の心はどんどんと離れていくのだと思います。大変なことですが、患者会の基本である会員の皆さんが親近感を感じようなどひびんな交流の機会を作っていくことが必要であると考へます。来年度の課題として胆に銘じておきたいと思ひます。

③ 青年部活動

平成18年8月26日(土・日)
大森東急インで全腎協青年交流会

が開催され各県2人ずつの参加規定がありましたので、東京も2人で参加しました。全体では96人の参加でした。

全体会は全腎協吉村理事の挨拶で始まり、分科会は8つのグループに分かれ今回も昨年同様演劇講師陣を迎え、患者会の抱える問題定義を出し演劇形式で発表を行い、これからの団体が抱える問題について考え、演劇にして伝えました。

平成18年10月14・15日(土・日)
長野県安曇野蝶ヶ岳温泉「ほりでーゆー」で第20回全腎協関東ブロック青年交流会in長野が開催され東京からは5人が参加しました。全体では37人の参加でした。

1日目のデイスカッションは、開催県の金田青年部長の進行ではじまり、神奈川県青年部よりの提言で神奈川県マスケット阿部部長から活動報告がありました。

その後各県の青年部長による活動発表があり、今後若い後継者を育成することが各県の緊急課題であると認識しあいました。

また毎月1回のペースで開催している勉強会は、青年部幹事を中心に埼玉県の青年部幹事も加わり年金制度、医療制度など多岐に亘

り習得することができました。勉強会を通じて団体として何を引き継ぐべきか見極め、青年層の強化を計り、後継者育成に取り組みます。

④ 地域腎友会委員会

8月6日に東京都障害者福祉会館において、地域腎友会交流会を開催し、52人が参加しました。荒川区腎友会、NPOさくららの会、江戸川区腎友会さつき会、江東区腎臓病を考える会、町田市腎友会と平成18年1月15日に発足しました葛飾区腎友会の6地区の各腎友会会長から活動報告がありました。

各地域腎友会は設立の際の目標が多岐にあり、また、各区、各市の自治体の理解度、協力度でそれぞれ腎友会の活動方針が違っています。

今期より、NPO東腎協としての「地域腎友会のあり方」、「地域腎友会を設立するには」として、今後の地域腎友会設立の骨子を交流会の席上で提案しました。現在までのところ一部の地域で始動しつつありますが、運転資金の問題で中断しています。委員会では、県の成功事例を調べたところ、自

治体の協力、活動資金の件、強烈なリーダー力のある人材が大変に重要な要素であるよう考えられます。今後、その点に思考をおき研究していきます。

2. 腎臓病患者の自立を支援するための相談事業

広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務
9/14 東京都障害者職域開拓支援事業説明会・労働経済局
'071/21東難連就労支援シンポジウム(3人)

相談業務は月に5件のペースで電話相談を主に行っていました。会員対象とNPOになつてからの一般市民を対象とする相談がありました。

特に「第19回腎臓病を考える都民の集い」の相談は会場の参加者から、数多く寄せられ、当初の目的を達しました。

3. 腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業

①「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談
行政委員会

腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業、この事業遂行のため今年度の行政委員会は、これまでも志して来た「行政とのより良いコミュニケーションを目指して」政治(都議会)への強い働きかけと透析医療の実態理解の推進へ三〇透析患者の現状、医療・福祉制度の死守等を活動の柱として努力してまいりました。透析医療への厳しい環境が続く中、本年度も診療報酬の引き下げ(エリスロポエチンの包括化、夜間・休日加算の減点、慢性維持透析患者外来医学管理料の減点)をはじめとする種々の制度の見直し、後退が断行され「自己負担なし」が崩れかけています。

大きな成果の一つであると信じます。国が医療費の総枠規制や削減を進め特に高額医療である透析医療をターゲットにする原因の一つに、私たち透析患者の医療そのものの実態や日常生活があまりに知られていない事も挙げられると感じます。私たちの「透析医療」そして、私たちの「命と暮らし」を守り抜く為にも、行政委員会としては、まずは都の「行政」「政治」に私たち透析患者の「医療」と「生活」の実態を直に「実態」してもらう事を目標に昨年度から今年度にかけて積極的に働きかけ既に都議会民主党の議員には、透析施設での透析医療の実態を体験して頂きました。この活動を他党の議員の皆様達にもまた行政の方々にもより積極的に推進し、実態を知った上での政策・施策に生かして頂きたいと熱望するものであります。

また例年、重要な活動として全力を挙げて取り組んでおります、7月の行政各局への「都庁予算案」を丸1日かけ真剣に要請してきました。本年度の詳細要請項目は既に機関誌に掲載済みですが、本年度「NPO法人東腎協」としての最重要要望項目として

- 一、心身障害者医療費助成制度の堅持継続
東京都医療費助成制度(都)堅持継続
- 二、災害時、緊急時透析治療体制の早期確立
- 三、糖尿病性腎症からの透析患者増加防止のための知識や予防、管理体制の強化
- 四、腎臓病の予防、啓発活動の「都民の集い」の予算化
- 五、腎臓移植体制の強化、特に献腎移植普及のための予算化以上を要望しました。

②「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談

8/3ヒアリングの日程の件で都議会各会派訪問
8/182007年度都議会ヒアリング

資料各党へ送付

9/5都議会ヒアリング(8人)行政各局は勿論の事、8月に丸1日かけて行った「都議会各会派の「予算ヒアリング」に於いても各会派に強く要望したところであります。その結果、日頃目標としてきた行政と議会各派へのコミュニケーション強化も実り、行政の

対応も議会各派の関心理解も前向きに具体化の兆候も見え、もう一押しは努力が必要と思われます。それには何と言っても透析患者が「一丸となり、その想いと情熱が通じるパワー」が不可欠でしょう。その為により多くの仲間の手を揃え、一体感が訴求力を高める絶対的条件であり、危機感を持ち「NPO法人東腎協」の組織力強化に患者全員が目覚める時がきています。

災害対策

会員の生命を守る災害対策については主に災害対策委員会が担当し、東京都の予算要望においても福祉保健局に対して、要望しています。それに比べ、5年ぶりに平成18年3月に「災害時の透析医療活動マニュアル」の改訂版が出版されました。同年7月20日には都民ホールでその改訂版の概要説明と三多摩地区及び都区部の災害時透析医療ネットワークの説明が行われました。

同年の2月12日には「災害時医療支援船構想発表会」がお台場・船の科学館で開催され、我々透析者の海上利用の救援ルートがスタートするべきであるとの説明が行

われ、陸・空・海の救援ルートが開かれようとしてきました。同年10月28日には、東腎協の会員5名も乗船し、支援船の検証航海が都内の河川を利用して行われました。今年(H.19)、2月4日には検証航海の成果を基に「災害時医療支援船事業報告講演会」が東京海洋大学キャンパスにて開催されました。

東京都は河川が多く、災害時には河川・海路の救助チャンネルが考えられます。東京都も2月15日の都議会公明党上野議員の質問を傍聴したときの答弁ではこの海上搬送には前向きな考えを述べていました。(この検証航海体験記は機関誌「東腎協」No.165・No.166に記載されています)。この他にも、災害対策委員会が機関誌「東腎協」に参考になるレポートを記載しています。ぜひ参考にしてください。今後も引き続き機関誌を通じて災害対策に必要なテーマ・資料を記載してまいります。

4. 関連する他団体との協同

事業 ①「国会請願」

全腎協は設立5年後の1979(S.54)年の総会において「腎疾患総合対策」を提起し、その実現を目指して第35次国会請願まで会員の協力のもと、最近では毎回100万筆以上を集めてきました。昨年2006(H.18)年の社団法人「全腎協」第29回総会で「新・腎疾患対策」を提起・採択されたことに伴い、その早期確立を目指して、国会請願しました。

第36次国会請願は3月23日に国会への行動を実施し東腎協からも10人が参加しました。紹介議員は事前に国会の厚生労働委員会の中で東京選出の議員や東腎協独自の紹介議員を訪問して、お願いしました。

署名数は全腎協は36,096筆で、JPAは34,400筆でした。募金はJPAとあわせて2,771,251円でした。当日は多数の国会議員の先生方に会員の努力の結晶の署名用紙を渡してお願ひしてきました。

②(社)全腎協、NPO東難連に協力及び協力をし、不特定多数の方々へ腎臓病について広く啓蒙活動を行う。

全腎協へは協力を惜しまず、関東ブロック会議、関東ブロックの災害対策委員会、組織対策委員会、大阪での全国大会へと参加してきました。また、腎臓移植推進全国街頭キャンペーン・銀座パレードと共に移植推進運動として全腎協が参加している臓器移植(臓器移植患者団体連絡会)の参加団体NPOの日や臓器移植法改正要望・決起大会などにも参加しました。

また、桜美林大学の患者・患者家族へのインタビュー調査やエリスロポエチンの診療報酬包括化後の使用状況実態調査、例年の事務局状態実態調査、障害者のIT活用に関する実態調査など力を尽くしてきました。全腎協年3回の総会には榎原会長が社員代表として、また、理事には藤原副会長が出席することを通じて不特定多数のかたがたに腎臓病についての啓蒙を行って来ました。

東難連には田中理事が、東難連理事長として参加して、総会や、無料難病医療相談、ピュア(当事者)相談員研修会、就労シンポジウムなどを催し、東腎協からも参加して、難病者の福利厚生の一助

を担ってきました。また東難連の東京都に対する予算要請でも、東腎協会長が参加してNPO東腎協の要望を共に要望しています。

東京・無年金障害者をなくす会運営委員会に出席し当面無年金学生障害者の裁判運動を支援する活動をしてきました。7月23日には「学生無年金障害者訴訟の勝利をめざすみんなの集い」にも理事会を当日と重なったのですが、3人が参加しました。

運営委員として東腎協から木下副会長と田中理事が参加していますが2人とも体調がすぐれず十分で今後の会議への参加は理事会での討議を経て、2007(H.19)年度は考慮しようということにいたしました。

5. 福祉移送相談・推進事業

NPOを取得し、通院福祉移送を行おうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦

今年度は福祉移送相談団体の設立はありませんでした。したがって、NPO板橋腎友さくら会・練馬区のNPO法人すずらんの会・

NPO難病者移送サービスネット
ワーク・NPO通院サポートセン
タータンポポの4団体に協力・支
援を行ってきました。

6. 腎臓病患者の食治療に資する事業

① 低たんぱく米の広報・斡旋、災害時備蓄米斡旋

4/22トレサビリティNPO米ニケーションへ出張・低たんぱく米「春陽」育苗見学4/23埼玉米「春陽」の紹介5/23春陽販促・栃木県腎会 トレーサビリティNPO米ニケーション出張・低たんぱく米「春陽」田植え見学6/14東京都庁災害時備蓄米陳情6/15春陽販促で茨城県腎臓病協議会青塚会長訪問6/27トレサビリティNPO米ニケーション参加・低たんぱく米「春陽」有機・減農薬栽培見学8/3静岡県腎友会へ「春陽」販促、9/14トレサビリティNPO米ニケーション参加・低たんぱく米「春陽」稲刈り10/26危機管理産業展エコ・ライスのブース訪問11/14「春陽」備蓄米の件で東京都議会議員早坂先生、公明党伊藤議員訪問、都議会厚生委員会傍聴07/2/11「エ

コ・ライス米酒鍋雪まつり」イベント(47人全体130人)
3/9災害備品取り扱いについてエコ・ライス新潟と全腎協へ

収益事業委員会

東腎協のNPO法人取得をまわって新潟県長岡市を始めとする県内各地の稲作農家の目的を持った前向きで将来展望を積極的に進めるお米生産者の集まりである(有)エコ・ライス新潟とNPO法人米ニケーションと平成18年4月に「業務連携協定」「災害支援協定書」「低たんぱく米等販売の契約書」を締結し双方協議の上腎臓病や糖尿病、生活習慣病患者とその予備軍の食治療をサポート、その為の食品開発等を通して食事管理、食治療法が必要な人々への手助けと社会貢献を目指す、また将来はNPO促進法で許されている範囲での収益事業に発展させ「NPO法人東腎協」の運営費に還元できるまでに成長、発展を模索するものである。

また身近に迫る首都圏直下型大地震やその他の大災害時の食事管理、食治療法を必要とする患者さんへの備え、備蓄に(有)エコ・

ライス新潟の低たんぱく米「春陽」のバック米、アルファ米の備蓄を6月に都議会自民党の早坂義弘先生の仲立ちに依り石原東京都知事宛の陳情書を福祉保健局生活福祉部部長、朝比奈様に手渡すレモニーを行いNHKテレビの首都圏ネットワークで放映されました。この実現に都議会自民党は勿論の事、都議会公明党も熱心に後押しを約束して頂いております。早期実現を目指し今期努力いたします。「業務連携協定」の一環として「トレサビリティ」を実施「春陽」の田植えから収穫までを石山理事が体験してくれました。

その他(有)エコ・ライス新潟、NPO法人米ニケーションと連携して「春陽」の広報と販促により「NPO東腎協」の収益に繋がる方向を目指したい。それには会員の皆様のご協力も大変大きな力となります。2007年3月には日本橋「にいがた館」に於いて新潟県の物産展を開催致しました。今後は(有)エコ・ライス新潟様と緊密に連携を強め「春陽」(低たんぱく米)のより広い販売促進を中心に、社会貢献に繋がる様な企

画を考え、会員の皆様のご理解・協力の下、よりこの事業を発展させて行きたいと考えます。それこそが、NPO法人取得の一つの大きな意義になる筈です。

② NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う6/13エコ・ライスと武蔵台小学校田植え参加、食育指導、NHK取材

9/22武蔵台小学校稲刈り

2年前から中野区立武蔵台小学校5年生を対象に校庭の仮設田んぼにおいて「田植え」から「稲刈り」まで生徒たちが実際にかわりお米の出来るまでを実践体験する事に由来「食」への興味と関わりを強めて行く事は、「食育」に誠に効果的に生かされています。またこの事業に橋原会長と小林理事が参加し「食育」の中で「食と病

気」をテーマに生徒たちに腎臓病の実体と怖さ、子供の頃から食事管理と腎臓病の知識と予防の啓発を行ってきました。尚、このようにNHKテレビで取り上げられ放映されました。

7. その他の事業

広告掲載事業・年4回の機関誌上 広告掲載

NPO 東腎協の機関誌「東腎協」の誌面に理事会で承認を得た業者の広告を掲載する事業であり、その広告記事を掲載することにより、会員の福利につながることを期待して事業の拡大に努力しています。編集委員会が担当し、会員との唯一のパイプである機関誌の作成とともに、広告業者との交渉・広告原版のチェックなど行っています。

17年度協力頂いた広告主様は次の各社です（順不同）

エルビス（株）、ベータ食品（株）、明治製菓（株）、（有）ムコス、（有）ゲルソン商会、テンプスタッフフロンティア（株）、（株）イーホープ、（株）ハッソー、賢島ビニューホテル



臓器移植推進活動・銀座（2006.10.1）



第19回腎臓病を考える都民の集い（2007.2.25）



青山学院チアリーダーの皆さん（2006.10.1）



会長・会員の皆さんパレードに出発（2006.10.1）



臓器移植普及推進キャンペーン（2006.10.22）



山川豊さんから挨拶いただきました（2006.10.1）

二〇〇六年度主な活動記録

2006年4月

- 1 三役会
全腎協関東B災害対策会議
東京都生活文化局へ総会講演
について依頼
- 2 高齢透析患者の生活と意識実
態調査患者会代表者へ送付
総会メッセージ「NPO岐腎
協（社）滋賀腎協」送付
- 3 NPO総会講師依頼で東京社
会福祉協議会東京ボランティア
ア市民活動センター
安藤雄太様と面談
- 4 NPO岡山県腎協へメッセー
ジ送付
- 5 H.P.勉強会
NPO法人カルシウムックHP
取材「千葉県保田」
全腎協組織対策委員会、東京
フォーラム実行委員会出席
各県宛「総会解散式とNPO
第1回総会案内」を郵送
「ぜんじんきょう」No.214
- 6 声の会報ダビング
宮崎宛メッセージ送付
「東腎協」No.163編集
篠原監事来局NPO収支計
算書監査
- 7 関川病院会員拡大施設訪問
第3回理事会（19人）
深川橋腎友会のことと清湘会
星野理事長面談
PCA会計NPOソフト・ス
キヤーナー（エブソンGT
F520）購入
メッセージ作成（佐賀、長野）
へ発送、No.163編集
- 8 都庁各局、各会派、国会議員
訪問NPOあいさつ
総会メッセージ作成・郵送
（京都・北海道・石川・埼玉
・宮城・徳島）
無年金障害者をなくす会
三役会
新葛飾病院会員拡大施設訪問
青年部勉強会
トレサビリティNPO米ニケ
- 9 ーションへ出張
あけぼの友の会総会
恒心クリニック個人会員浅野
さん宅、区腎友会設立の説明
で訪問
東京都公園協会「東腎協」No
163表紙のために訪問
（社）香川県腎協へ総会メッ
セージ郵送
- 10 鳥取県腎友会へメッセージ
スタッフサービスビジネスサ
ポート小野様来局対応、個人
会員板谷様来局対応
- 11 2006年5月
高知・長崎・愛知へメッセー
ジ作成・郵送
三役会
静岡腎友会へ総会メッセージ
第14回「山加朱美の福祉啓発
ライブ」2006練馬文化セ
ンター大ホール
神奈川、山梨、山形、富山、
茨城宛総会へメッセージ
- 12 第4回「生命・きずなの日」
中南部理事會、編集委員会
第4回理事會（19人）
日本大学大学院教授高橋進様
来局対応
NPO腎臓サポーター協会総会
「哲仁会 井口病院」再訪問
日本大学大学院教授高橋先生
来局
「医療の声をいかに医療政策
決定プロセスに反映させる
か」に関する研究患者会アン
ケート回答
栃木／群馬総会メッセージ
三役会
- 13 「東腎協」No.163貰了
21 全腎協大会へ大阪
柳原健腎友会、松和患者会
新宿南口支部総会
春陽販促、栃木県腎友会
葛飾区地域腎友会会議へ亀有
会計監査
都庁各局を総会開催のあいさ
つで訪問
- 14 東腎協第34回総会、解散式、
NPO東腎協第1回総会参加
人数（200人）
JPA（日難病）国会請願行動
衆・参議院議員会館、東京都
庁へ総会の御礼

奈良県腎協、福井県腎友会、
福島県腎協会メッセージ

2006年6月

- 3 JD (日本障害者協議会) 緊急フォーラム)
4 NPO東難連総会(4人)
5 織本病院高木院長、野村様と懇談
6 久野クリニック院長訪問
8 東京フォーラム実行委員会
午後東京フォーラム
森下仁丹(株) 浜本様、阪本様来局対応
8 「ぜんじんきょう」No215
「声の会報」ダビング
10 青年部勉強会
11 三役会
13 エコ・ライズと武蔵台小学校
14 田植え参加、NHK取材
15 東京都庁災害時備蓄米陳情
18 春陽阪促で茨城県腎臓病協議会青塚会長訪問
18 第5回理事会(19名)
20 都庁福祉保健局訪問、日本共産党東京都議会議員団吉田幹事長と面談
21 福祉保健局疾病対策笹井課長・天野係長来局
NHKプロデューサー尾久様

- 22 来局
都庁へ2007年度予算要請書類提出、災害活動マニユアル改訂版25冊受取
3 フォークスグループ調査、核美林大学へ
5 障害者雇用についてアデコ(株)松沢様、清次様来局対応
6 NHK首都圏ネットワーク東腎協理事會会議取材
25 10・1臓器移植キャンベーン日移協、全腎協合同会議
27 トレサビリテイルNPO米ニケーション参加
28 NHK首都圏ニュース撮影
29 NPO東難連2007年度都庁予算要請
フォークスグループ調査参加
「核美林大学」
2006年7月
1・2 課題別会議「大阪フォークスグループ」参加
6 ユニ家族グループ参加
9 第1回東京腎不全対策キャンベーン講演会
11 日本NPOセンターへ団体情報提供資料作成
12 日本製薬工業協会患者会HP掲載資料作成・発送

- 13 福祉保健局疾病対策課天野係長「災害時における透析医療活動マニユアル」125部持参
15 16全腎協関東ブロック会議
18 2007年度都庁予算要請
20 「災害時における透析活動マニユアル」説明会
21 「東腎協」No164責了
23 スタッフサビース山口様、石川様来局対応
25 第6回理事会(19人)
学生無年金障害者訴訟の勝利をめざすみんなの集い
25 障害者・患者団体共産党主催懇談会
葛飾区腎友会顧問区議会議員自民党会田先生訪問
27 葛飾区依頼透析拒否者宅訪問
すなわ相互患者会いずみ役員会参加
29 2007年度都庁予算要請テ
ープ起し
30 全腎協理事會研修会
青年部勉強会
28 中南部交流会(22人)
2006年8月
1 第26回臓器移植キャンベーン
の件で日移協会長鈴木さんと
2 都庁訪問
都議会自民党山加先生主催の
障害者団体の会出席
3 静岡県腎友会へ「春陽」販促、
ヒアリングの日程の件で都議
会各会派訪問
6 編集委員会
第9回地域腎友会交流会(全
参加者52人)
10 「日本障害者センター福祉医
療セミナー」出席案内理事宛
文作成・発送
「ぜんじんきょう」No216
16 声の会報ダビング・発送
26 第26回臓器移植推進キャンベ
ーの概要を東京都へ
18 2007年度都議会ヒアリン
グ資料各党へ送付
19 障害者施策セミナー出席
20 東部ブロック交流会(37人)
21 松和患者会カトレア支部青木
様会費持参来局対応
24 日本共産党都議会議員団主催
「自立支援法結果調査報告意
見交換会」
26 全腎協全国青年交流会
27 一都三県組織対策委員会
28 駒込共立クリニック河辺院長
退職につき挨拶と新事務長に
挨拶

31 「東腎協」No165表紙写真
借り出し依頼に公園協会へ

2006年9月

3 北部交流会 (18人)

4 熊井様面接

5 都議会ヒアリング (8人)

7 都議会自民党早坂先生紹介に
より防災及びごみ処理等で東
京湾視察

8 エリスロボエチン実態調査現
在回収分全腎協へ提出、

9 「ぜんじんきょう」No217
個人会員宛て発送

14 青年部勉強会

15 東京都障害者職域開拓支援事
業説明会・労働経済局

16 バクスター(株)大西様、大
島様来局対応

17 シンポジウム「どう変わる！
患者・障害者の福祉医療」

21 第7回理事会 (14人)

22 鶴田先生講演依頼訪問、
あけぼの友の会宛ゼッケン・
空気入れ発送

23 臓器移植患者団体連絡会10、
1パレード・シンポジウム記
者懇親会

24 武蔵台小学校様刈り
理事・正会員交流会 (60人)

26 加藤絃一議員政策秘書五反部
様面会

27 葛飾区議会議員会田先生(葛
飾区地域腎友会顧問)と葛飾
区長表敬訪問

28 第26回臓器移植推進キャンペ
ーンパレード山川豊氏参加の
ため長良プロダクション訪問

29 葛飾区議会「人工透析患者の
災害対策の強化について」の
請願書提出に關しての危機管
理委員会傍聴

30 2006年10月

1 臓器移植銀座パレード・全国
リレーシンポジウム(80人)

2 臓器移植売買の報道の件で取
材対応、テレビ朝日取材対応

4 フジテレビスーパーニュース
取材

7 「第26回臓器移植推進キャン
ペーン」共催協定書東京都へ
青年部勉強会

10 会員拡大北部9件訪問
相談役会

13 都道府県組織事務局体制の現
状に關する調査記入全腎協へ
送付

14 兵庫県第6回大会・NPO神
奈川県30周年記念式典宛メッ

14 セージ送付

14 瑞江腎クリニックを都議市民
主党初鹿先生と見学視察

14 全腎協関東B青年交流会
in長野

15 第8回理事会 (15人)

17 都庁福祉保健局、都議会各会
派訪問

18 (株)パソナハートフル雇用
の件で白岩様来局対応、「医
師・看護師ふやせ10、27中央
集会」へのメッセージの依頼

19 東京都民主医療機関連合会看
護部副部長斉藤様・岡崎様来
局対応、

20 日本青年館を第2回総会会場
予約の件で下調査

21 「東腎協」No165責了

22 中外製腎領域学術部腎疾患企
画推進グループ高野様災害支
援船検証実験について来局

23 第26回臓器移植普及推進全国
街頭キャンペーン(108人)

24 東京都疾病対策課参加者(笹
井課長、天野係長、大内係長、
古川様)

25 「医師・看護師ふやせ10、23
中央集会」東京民主医療機関
連合会へメッセージ

26 「ぜんじんきょう」No217
声の会報ダビング・発送

27 危機管理産業エコ・ライス
のブリス訪問

28 佐賀30年記念式典へメッセー
ジ

29 東京直下型地震を想定した河
川・船舶利用の患者搬送訓練
航海(5人)

30 三役会

31 公明党代表大田議員秘書中山
さんと懇談、自民党加藤絃一
議員政策秘書五反分さん懇談

32 「出直してよ！障害者支援法
10、31大フォーラム」(10
人)

2006年11月

4 編集委員会

4 5 全腎協相談員研修会

6 松和患者会西新宿支部田中様、
カトレア支部青木様会費持参
来局対応

7 「ぜんじんきょう」No218
個人会員発送

7 サニコーポレーション広告
掲載について来局対応

9 「きかんし」あたごくらぶ編
集講座参加

9 エコ・ライスと収益事業委員

会面談

- 東京都障害者団体連絡協議会
11 12 全腎協関東ブロック会議
・神奈川(5人)
多摩ブロック学習交流会(26人)
14 「春陽」備蓄米の件で東京都
議会議員早坂先生、公明党伊
藤議員訪問、都議会厚生委員
会傍聴
16 織本腎友会大塚副会長から相
談電話対応
松村先生と「集い」の件で面談
葛飾腎友会災害問題の件で葛
飾保健所へ
17 織本病院腎友会へ医療制度質
問状に回答作成送付
18 青年部勉強会
第9回理事会
災害時河川船運シミュレーシ
ョン(NPOまちなみ育成会
主催)
27 大島腎友会中嶋正会員依頼慢
性維持透析患者外来医学管理
料資料送付
福祉保健局疾病対策課へ腎臓
病を考える都民の集い共催の
お願い、来年度移植推進キャ
ンペーン上野公園仮押え御礼
訪問、製薬協フォーラム出席
- 吉澤理事、金井正会員対応
30 29 FAX購入、設置
「とうきょうフォーラム」実
行委員会公開学習会
中外製薬佐々木様来局対応入
会のしおり見本作製・チェッ
ク
2006年12月
3 キドニーウォーク・NPO腎
臓病早期発見推進機構講演会
にこたま会学習会
4 障害者自立支援法署名整理3
00筆を「きょうざれん」事
務局へ送付
5 「障害者週間」ふれあいフェ
スティバル都庁デジタルカメ
ラ・キャンノン EOS Kiss Dig-
iE X購入
7 エコ・ライスと話し合い
聖路加国際病院へ「都民の集
い」講師の件で小松先生訪問
「声の会報」ダビングNo.218
8 「第19回腎臓病を考える都民の
集い」協賛依頼等でバクスタ
ー大嶋様へ面談の日時打合わ
せ、東京都古川様と共催名義
必要書類等打合わせ
11 障害者のIT利活用に関する
実態調査(JD調査・2000
- 6) 全腎協依頼アンケート記
入
13 森下仁丹橋本様、坂本様来局
対応、ユアハイマート津村様
来局対応、年賀状作成
14 せんば東京高輪病院徳永栄養
士「都民の集い」栄養講演の
件で訪問
全腎協金子理事と面談、臓移
連会議
新湯佐藤氏へ肩石灰化治療資
料郵送
毎日新聞電話多摩ブロック施
設の取材対応
賢島ビューホテル山田氏来局
15 年末調整の準備
「東腎協」No.166 広告につ
いて各社連絡
「東腎協」No.166 編集
織本病院腎友会外山会長へエ
リスロポエチン関連資料FAX
17 送付
三役会
第10回理事会(17人)
18 第36回国会請願署名整理
JT Bグロバールマーケティング
21 ング&トラベル木村様来局対
応
バクスター(株)へ「都民の
- 集い」協賛依頼で訪問
第14号全腎協医療通信印刷理
事・正会員へ発送
「東腎協」No.166 編集
青年部勉強会
22 共催名義使用許可申請書東京
都へ送付、後援名義使用許可
申請書千代田区保健所、東京
都医師会へ送付
署名整理、世田谷区役所から
災害対策についての相談対応
25 26 エリスロポエチン包括化によ
り織本病院が輸血をしている
問題について鶴田クリニック
鶴田院長に相談
後援名義使用許可申請書NP
O東難連、日本腎臓学会、日
本透析医学会、日本臓器移植
ネットワーク、三多腎臓移植
治療医会、全腎協へ送付、世
田谷区世田谷保健所健康企画
担当保長木村様、主査平原様
地域防災についての相談対応
27 東京都各局・都議会各会派年
末挨拶
28 国会各党議員年末挨拶
イーホープ3好さん来局
東京都障害者福祉会館に、07
年度使用申込書受取大掃除

2007年1月

全腎協会計幅さん挨拶来局

来局訪問

2007年2月

「フィオーレ東京」田島部長

1 国会議員会館、都庁、都議会
挨拶

5 「第19回腎臓病を考える都民
の集い」都議会各会派へ来賓
のご案内状送付

14 三役会
練馬区透析患者災害時訓練参
加

16 第2回NPO東腎協総会講演
・講師の依頼で杏林大学学長
長澤先生訪問、臓移植会議

18 第2回総会会場申込
「東腎協」No166責了
三山(株)児王さん広告掲載
の件で対応

20 「第19回腎臓病を考える都民
の集い」NPO腎臓サポー
ト協会理事長松村様と打合わ
せ

25 21 青年部勉強会
第11回理事会(15人)

30 「集い」掲載広報問い合わせ
・申し込み、柳原病院職員向
け「診療報酬改定・医療制度
改革・後期高齢者医療制度」
について講演
第2回総会会場社会保険会館

2 日本移植者協議会行事につ
いて日移協鈴木会長と都疾病対
策課訪問
全腎協第15号医療通信印刷・
発送

3 三役会
災害時医療支援船事業報告・
講演会(8人)

4 東部ブロック学習交流会(27
人)

5 代々木山下医院院長秘書室室
長中川様学習会の件来局

6 臓器移植法改正決起大会ポス
ター、ハガキ、案内状作成

8 「ぜんじんきょう」No219
声の会報ダビング

11 「エコ・ライス米酒鍋雪まつ
り」イベント(47人全体13
0人)

15 相談役会
東京新聞フォーラム「大規模
マラソンの社会貢献」
ファンデリーの阿部さん・峯
岸さん対応

都議会傍聴公明党上野和彦議
員質問・支援船について傍聴

16 代々木山下医院院長秘書室長
中川様学習会のことで来局

18 第12回理事会午前・午後(16
人)

19 毎日新聞社科学環境部記者山
田大輔記者取材来局

20 臓移植会議
疾病対策課他「集い」挨拶

22 久野クリニック会員大平氏マ
ル都の件で来局対応・疾病対
策課天野係長へ電話確認

24 青年部勉強会
「第19回腎臓病を考える都民
の集い」開催日(226人)

26 三沢様来局個人会員入会対応
第36次国会請願署名33,5
44筆、JPA32,157
筆全腎協へ送付

2007年3月

1 イーホープ三好様来局
三役会

3 決算に備えての会計業務
臓器移植法改正決起大会(37
人)

6 第36次国会請願署名紹介議員
廻り

6 「ぜんじんきょう」No2220
個人会員宛発送郵便局持込
「豊島区におけるNPOの現

状と行政との協働なあり方に
関する調査」記入・送付

全腎協栗原副会長来局自立支
援医療の件民医連事務所へ案
内

8 臓器移植法改正要望で公明党
太田代表・自民党漆原国対委
員長訪問、東京フォーラム

9 第11回実行委員会
災害備品取り扱いについてエ
コ・ライス新潟と全腎協へ

11 宮城県腎臓病患者連絡協議会
幹事会でNPO取得について
講演

12 日本移植者協議会絵画展
東京都後援申請同行

13 代々木山下医院訪問
第13回理事会(16人)

18 全腎協へ会費年度末精算納入
¥1,800×5,845人

20 10,521,000 9,8
40,000(既入金)につき
¥681,000国会請願
署名募金全腎協分¥545,
672 JPA分 ¥2551
,1011人金

22 国会署名請願行動日(9人)



都議会ヒアリングに参加の理事 (2006. 9. 5)



熱心に語る、パネリストの皆さん (2007.2.25)



熱心に聞き入る正会員の皆さん (2006. 9. 24)



小関事務局長からの説明 (2006. 9. 24)



表彰される相談役の皆さん (2006. 5. 28)



満席の熱気が伝わる会場内 (2006. 5. 28)



第34回及びNPO東腎協第1回総会・役員の皆さん (2006. 5. 28)



第34回及びNPO東腎協第1回総会・青年部メンバー (2006. 5. 28)

18年度 事業報告書

18年 4月 1日から 19年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

1 事業の成果

平成18年度は、「臓器移植キャンペーン」「腎臓病を考える都民の集い」を東京都共催はじめ関係団体に協力をしていただき多数の一般市民に啓蒙ができた。また、「東京都庁予算要請懇談会」「東京都議会ヒアリング」「国会請願署名」等活動ができ、ほぼ事業計画通りに活動できました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 日 時	実 施 場 所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人 数	支出額 (千円)
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」銀座ではバレード、上野公園では臓器提供意思表示カード及び風船の配布を行いました。	10月1日 10月22日	中央区銀座 台東区上野	100人	一般市民 15,000人	422
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療啓蒙を行いました。	2月25日	千代田区 総評会館	20人	一般市民 300人	640
	機関誌「東腎協」の発行	1月 5月 7月 10月	事務局	6人	一般市民 7,000人	6,207
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病に対する理解と意識啓蒙を行いました。	通 年	事務局	2人	一般市民 不特定多数	476
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催しました。	7月 8月 9月 11月 2月	都 内 多摩地区	30人	一般市民 300人	424
	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務を行いました。	通 年	事務局	5人	一般市民 不特定多数	1,235
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「東京都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談を行いました。	7月18日	都庁会議室	8人	一般市民 不特定多数	82
	「東京都議会ヒアリング」都議会議員との懇談を行いました。	9月5日	都議会議員 会館会議室	8人	一般市民 不特定多数	27
関連する他団体との協同事業	全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす「国会請願」署名を行いました。	3月22日	衆議院・参議 院議員会館	8人	一般市民 不特定多数	876

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
関連する他団体との協同事業	全腎協、東離連に協力及び協力をし、不特定多数の方々に腎臓病について広く啓蒙活動を行った	随時	都内	4人	一般市民 不特定多数	12,447
福祉移送相談・推進事業	NPOを取得し、通院福祉移送を行なおうとする団体の相談を行いました。	随時	事務局	5人	一般市民 500人	0
腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報・幹旋、災害時備蓄米幹旋「トレーサビリティ」参加	随時	事務局	3人	一般市民 300人	169
	NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行いました。	年2回	中野区立 武蔵台小学校	2人	中野区立 武蔵台小学校 生徒及び教員	33

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予日 時	実施予場 所	従事者の 予定 人数	支出見額 (千円)
広告掲載事業	年4回の機関誌上広告掲載	年4回	事務局	5人	511

財 産 目 録

平成19年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	25,360,630		
現金 現金手許有高	72,892		
郵便振替(南大塚郵便局)	12,506,701		
普通預金(三菱東京UFJ銀行)	5,281,037		
定期預金(三菱東京UFJ銀行)	7,500,000		
流動資産合計		25,360,630	
固定資産			
その他の固定資産			
什器備品	115,045		
保証金	1,515,600		
退職給与積立預金(南大塚郵便局)	425,000		
その他の固定資産合計	2,055,645		
固定資産合計		2,055,645	
資産合計			27,416,275
【負債の部】			
流動負債			
預り金	46,438		
源泉税預り金	14,460		
社会保険預り金	31,978		
流動負債合計		46,438	
固定負債			
退職給与引当金	425,000		
固定負債合計		425,000	
負債合計			471,438
正味財産			26,944,837

貸借対照表

平成19年 3月31日現在

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【資産の部】			
流動資産			
現金預金	25,360,630	25,360,630	
流動資産合計			
固定資産			
その他の固定資産		2,055,645	
什器備品	115,045		
保証金	1,515,600		
退職給与積立預金	425,000		
その他の固定資産合計	2,055,645		
固定資産合計		2,055,645	
資産合計			27,416,275
【負債の部】			
流動負債			
預り金	46,438	46,438	
流動負債合計			
固定負債			
退職給与引当金	425,000	425,000	
固定負債合計			
負債合計			471,438
【正味財産の部】			
正味財産			26,944,837
(うち当期正味財産減少額)			(4,006,644)
負債及び正味財産合計			27,416,275

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

2007年3月31日現在

(単位:円)

品 名	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
シュレッダー リコー2211PT	103,000	97,850	5,150
液晶カラーモニター シャープ	131,040	124,488	6,552
オートコレクター UC1000	249,950	237,453	12,497
デジタル1眼レフカメラ キヤノン	110,787	19,941	90,846
合 計	594,777	479,732	115,045

1 重要な会計方針

什器備品の減価償却を行う。

過年度取得什器備品については、過年度分の減価償却を本年度計上した。

減価償却の方法は定額法とする。

2006年度(平成18年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

収入の部

2006年4月1日～2007年3月31日 (単位:円)

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1.会費収入	会費収入	35,200,000	31,969,550	90.8%	3月31日現在会費収入
	賛助会費収入	35,100,000	31,969,550	91.1%	
		100,000	0	0.0%	
2.事業収入	提携手数料収入	180,000	30,686		エコーラズ注文手数料
		180,000	30,686		
3.寄付金収入	寄付金収入	3,430,000	4,198,222	122.4%	扶養薬品、日本腎臓財団他
		730,000	1,687,208	231.1%	国会議員募金
	募金収入	2,700,000	2,511,014		
		21,200	93,219	439.7%	
4.その他の収入	受取利息収入	1,120	1,819	162.4%	定期預金利子
	受取印刷代収入	18,080	86,960	481.0%	患者会等資料印刷代
	物品販売収入	2,000	4,440		ガイドブック代
経常収入合計		38,831,200	36,291,677		
5.その他資金収入	預り金収入		1,856,512		
			473,527		
	収金収入		1,382,985		
6.退職給与積立預金取崩	退職預金取崩収入		2,293,000		
			2,293,000		
7.その他の事業繰入金収入	繰入金収入	1,512,000	1,132,553	74.9%	機関誌広告代一広告ページ印刷費
		1,512,000	1,132,553	74.9%	
その他資金収入合計		1,512,000	5,282,065	349.3%	
当期収入合計		40,343,200	41,573,742		
前期繰越収支差額		25,525,541	26,632,720		
合計		65,868,741	68,206,462		

2006年度(平成18年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

支出の部 1

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
1. 事業費 (1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キャンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	11,684,700 2,248,000 630,000 4,583,000 500,000 3,723,700	8,182,464 422,548 647,518 6,211,246 476,611 424,541	70.0% 18.8% 102.8% 135.5% 95.3% 11.4%	事務局員給与1名分含 事務局員給与2名分含 パソコン周辺保守料金、HP管理諸費用 理事会各委員会活動、プログラ活動、青年部、施設訪問
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	1,500,000 1,500,000	1,235,440 1,235,440	82.4% 82.4%	事務局員給与1名分含
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	200,000 150,000 50,000	109,349 82,284 27,065	54.7% 54.9% 54.1%	都職員関係費 都議会関係費
(4)関連する他団体との協同事業	国会請願事業 全腎協他に協力する事業	12,385,000 1,000,000 11,385,000	13,245,783 803,248 12,442,535	107.0% 80.3% 109.3%	募金上納金 全腎協会費、東郷連会費、事務局員給与1名分含
(5)福祉移送相談・推進事業	福祉移送事業	100,000 100,000	0 0	0.0% 0.0%	
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業	低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	350,000 300,000 50,000	202,924 169,170 33,754	58.0% 56.4% 67.5%	
事業費合計		26,219,700	22,975,960	87.6%	

2006年度(平成18年度)決算 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

支出の部2

大科目	中科目	予算	決算	%	備考
2. 管理費	給料 給保 事務 什光 通印 総交 会租 務事 退慶 手職 交局 際手 営運 公通 費費 課費 金費	8,547,500 282,412 4,137,588 300,000 320,000 250,000 850,000 350,000 500,000 500,000 10,000	5,644,100 358,006 4,137,588 725,917 302,438 296,790 1,017,884 458,758 1,570,673 389,973 264,760 2,000 177,385 2,258,000 15,750	66.0% 126.8% 100.0% 242.0% 94.5% 118.7% 119.8% 131.1% 314.1% 78.0% 20.0%	事務局長2名分 社会保険事業主負担分、その他団体傷害保険 パソコン・印刷機・コピー機リース代 名刺、事務用品他 電話器リース代、メール便代、切手代、振込料他 コピー機使用料、印刷用紙代 議案集費、会場費 理事会費、他 通勤定期代 登録印紙代 事務局お茶代、ゴミ券、ワット交換代他 事務局員退職金
3. その他資金支出	預り金 仮払金 什器備品 退職預金 繰出し金	403,000 403,000 403,000 403,000 403,000	1,926,140 432,368 1,382,985 110,787 250,000 73,710 73,710	109.8%	デジタル1眼レフカメラ購入
4. 退職給与積立預金繰入額		403,000	250,000		
5. その他の事業繰出金			73,710		
その他資金支出合計		403,000	2,249,850		
予備費		100,000	0		
当期支出合計 (当期収支差額)		42,770,200	42,845,832		
次期繰越収支差額		-2,427,000	(-1,272,090)		
		23,098,541	25,360,630		

正味財産増減計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
その他資産増加額	1,493,772		
退職給与積立預金増加額	250,000	1,743,772	
負債減少額			
退職給与引当金取崩額	2,258,000		
その他負債減少額	432,368	2,690,368	
増加額合計			4,434,140
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	1,272,090		
什器備品減価償却額	479,732		
その他資産減少額	3,652,435		
退職積立預金取崩額	2,293,000	7,697,257	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	250,000		
その他負債増加額	493,527	743,527	
減少額合計			8,440,784
当期正味財産減少額			4,006,644
前期繰越正味財産額			30,951,481
期末正味財産合計額			26,944,837

18年度その他の事業会計 貸借対照表

平成19年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
【正味財産の部】			
正味財産			0
(うち当期正味財産増加額)			0
負債及び正味財産合計			0

18年度その他の事業会計 収支計算書

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備考
【経常収入の部】			
広 告 料 収 入	1,512,000	1,570,320	
経常収入合計	1,512,000	1,570,320	
【経常支出の部】			
事 業 費	0	511,477	
腎臓病に関する知識の普及	0	511,477	
機関誌「東腎協」の発行	0	511,477	広告ページ印刷費
経常支出合計	0	511,477	
経常収支差額	1,512,000	1,058,843	
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	0	73,710	
繰入金収入	0	73,710	
その他資金収入合計	0	73,710	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	1,512,000	1,132,553	
繰入金支出	1,512,000	1,132,553	
その他資金支出合計	1,512,000	1,132,553	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

正味財産増減計算書総括表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【増加の部】			
資産増加額	1,743,772	1,743,772	0
負債減少額	2,690,368	2,690,368	0
増加額合計	4,434,140	4,434,140	0
【減少の部】			
資産減少額	7,697,257	7,697,257	0
負債増加額	743,527	743,527	0
減少額合計	8,440,784	8,440,784	0
当期正味財産減少額	4,006,644	4,006,644	0
前期繰越正味財産額	30,951,481	30,951,481	0
期末正味財産合計額	26,944,837	26,944,837	0

収 支 計 算 書 総 括 表

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

(単位:円)

科 目	合 計	一般会計	その他の事業会計
【経常収入の部】			
会費収入	31,969,550	31,969,550	0
事業収入	30,686	30,686	0
寄付金収入	4,198,222	4,198,222	0
その他の収入	93,219	93,219	0
広告料収入	1,570,320	0	1,570,320
経常収入合計	37,861,997	36,291,677	1,570,320
【経常支出の部】			
事業費	23,487,437	22,975,960	511,477
管理費	17,620,022	17,620,022	0
経常支出合計	41,107,459	40,595,982	511,477
経常収支差額	-3,245,462	-4,304,305	1,058,843
【その他資金収入の部】			
その他資金収入	1,856,512	1,856,512	0
退職給与積立預金取崩額	2,293,000	2,293,000	0
一般会計より繰入金収入	73,710	0	73,710
その他の事業会計より繰入金	1,132,553	1,132,553	0
その他資金収入合計	5,355,775	5,282,065	73,710
【その他資金支出の部】			
その他資金支出	1,926,140	1,926,140	0
退職給与積立預金繰入額	250,000	250,000	0
その他の事業へ繰出し金	73,710	73,710	0
一般会計へ繰出し金	1,132,553	0	1,132,553
その他資金支出合計	3,382,403	2,249,850	1,132,553
当期収支差額	-1,272,090	-1,272,090	0
前期繰越収支差額	26,632,720	26,632,720	0
次期繰越収支差額	25,360,630	25,360,630	0

平成 19 年 4 月 21 日

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
会 長 榊原 靖夫 様

特定非営利活動法人
東京腎臓病協議会
監 事 篠原 栄一



監 査 報 告 書

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、2006 年度（2006 年 4 月 1 日～2007 年 3 月 31 日）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表、収支計算書及び財産増減計算書）について監査を行いました。

私は、理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会等の議事録その他重要書類の閲覧をするほか理事から事業の報告聴取を行いました。また、財産状況に関する監査に当たっては、帳簿及び証拠書類の閲覧、照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び 2006 年度の活動方針、事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に従って適正に処理されているものと認められました。

よつて、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人東京腎臓病協議会の 2007 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

意 見 書

前期、当期と会費収入が減少傾向にありこの傾向は、透析患者の高齢化等により今後も続くと思わざるを得ません。

収支計算書の収支差額においても当期はマイナス 1,272,090 円となっています。2007 年 3 月 31 日現在の現預金残高は、25,360,630 円ですが、単純計算しますと向こう 20 年間で現預金残高は 0 円になってしまう計算になります。

任意団体から数えれば今年で NPO 東腎協は 35 年間活動を続けてきました。当期のような状態が今後も続けば、NPO 東腎協の活動に支障をきたすことも十分に考えられます。このことを肝に銘じて、少なくとも会費収入の現状維持の確保及び事業費、管理費の徹底した見直しが必要かと思われます。

たとえば事業費については全腎協への分担金の減額の要望、当期の全腎協への分担金は 10,521,000 円です。5,845 人×1,800 円の計算ですが、分担金 1 人につき 200 円減額するだけで当期の収支でいけば、現状維持できます。これは、極端な例ですが、少しでも分担金の減額要請の意志表示をすることは、必要なことだと思います。

また、日当等の活動諸経費も毎月の収支差額に注意を払って頂き予算と比較しながら必要に応じて内部規定等を見直し経費削減に努めて頂きたいと思います。

管理費については、事務所家賃が年間 4,137,588 円（月額 344,799 円）と管理費全体の 23.5%と人件費（管理費全体の 32%）の次に突出しています。

経費削減を考えると当期のような収支差額のマイナス状態が続くならば事務所の移転も考慮しておく必要があるのではないかと考えられます。

以上

19年〇月〇日

東京都知事 殿

所在地東京都豊島区南大塚二丁目42番6号

信友大塚ビル6階

名称 特定非営利活動法人東京腎臓病協議会

代表者氏名 榊原 靖夫 印

電話番号 03 (3944) 4048

ファクシミリ番号 03 (5940) 9556

定款変更認証申請書

下記のとおり定款を変更することについて、特定非営利活動促進法第25条第3項の認証を受けたいので、申請します。

1 変更の内容	(事業の種類) 第5条(7) 腎臓病患者の災害対策事業 (総会の開催) 第24条通常総会は、年2回開催とする。
2 変更の理由	(事業の種類) 近年の大規模災害に備えた腎臓病患者の災害対策強化のため。 (総会の開催) 総会の開催1回だけでは、正会員の意見等を十分に聞くことが困難であると判断したため。

19年度事業計画書

19年 4月 1日から 20年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会

1 事業実施の方針

広く一般市民に対し、腎臓病に関する正しい知識普及と予防を図るための事業、及び腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図るための政策提言等の事業を行ない、もって市民の健康ならびに福祉向上に寄与することを目的とする。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	「臓器移植キャンペーン」臓器提供意思表示カード配布	10月	中央区銀座台東区上野	100人	一般市民 10,000人	500
	「腎臓病を考える都民の集い」を開催し、広く一般市民に腎臓病の早期発見早期治療を啓蒙する	2月	豊島区	25人	一般市民 300人	700
	機関誌「東腎協」の発行	年4回	事務局	6人	一般市民 7,000人	5,330
	ホームページの維持管理を行い、活動内容を紹介し、腎臓病の意識の啓発を図る	通 年	事務局	6人	一般市民 不特定多数	400
	広く一般市民に腎臓病に関する正しい知識の普及と予防を促進するため、対話のできる学習交流会を開催する	年10回	都 内	10人	一般市民 300人	740
腎臓病患者の自立を支援するための相談事業	広く一般市民の腎臓病に関する医療・社会保障制度の相談業務	通 年	事務局	6人	一般市民 不特定多数	1,600
腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業	「都庁予算要請懇談会」都庁各局職員との懇談	6月	都庁会議室	10人	一般市民 不特定多数	100
	「都議会ヒアリング」都議会議員との懇談	10月	都議会議員会館会議室	10人	一般市民 不特定多数	30
関連する他団体との協同事業	「国会請願」全腎協と腎疾患対策の早期確立をめざす	3月	衆議院・参議院議員会館	10人	一般市民 不特定多数	800

事業名	事業内容	実施 予日 時	実 予場 施 定所	従事者の 予定 人数	受益対象者の 範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
関連する他 団体との協 同事業	全腎協、東難連に協力及び協力をし、不特定多数の方々に腎臓病について広く啓蒙活動を行う。	随 時	都 内	10人	一般市民 不特定多数	12,067
福祉移送相 談・推進事 業	NPOを取得し、通院福祉移送を行なおうとする団体の相談及び全腎協助成金申請の推薦	随 時	事務局	5人	一般市民 500人	50
腎臓病患者 の食事療法 に資する事 業	低たんぱく米の広報・幹旋、災害時備蓄米幹旋	随 時	事務局	3人	一般市民 100人	200
	NPO米ニケーションと協力し、小学校社会科の授業の一環である「低たんぱく米」収穫までの補助及び教員とともに食育指導を行う	年2回	都 内	3人	都内小学校 生徒及び 教員	30
腎臓病患者 の災害対策 事業	災害・緊急時透析患者手帳の作成	定款変更承認 証取得後	事務局	3人	一般市民 10,000人	780
	東京都を中心とした東京都区部災害時透析ネットワーク他多方面の自治体等と協力をして災害対策訓練実施に参加する。	定款変更承認 証取得後	都 内	10人	一般市民 不特定多数	20

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施 予日 時	実 予場 施 定所	従事者の 予定 人数	支出見 込み額 (千円)
広告掲載事業	年4回の機関誌上広告掲載	年4回	事務局	5人	52

2007年度(平成19年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算

2007年4月1日～2008年3月31日 (単位:円)

収入の部

大科目	中科目	18年度予算	19年度予算	備考
1.金費収入	会費収入	35,200,000	32,450,000	
	賛助会費収入	35,100,000	32,400,000	
		100,000	50,000	
2.事業収入	提携手数料収入	180,000	100,000	エコーライズ注文手数料
		180,000	100,000	
3.寄付金収入	寄付金収入	3,430,000	2,000,000	扶桑薬品、日本腎臓財団他
		730,000	1,000,000	国会請願募金
		2,700,000	1,000,000	
4.その他の収入	受取利息収入	21,200	100,000	定期預金利子
	受取印刷代収入	1,120	2,000	患者会等資料印刷代
	受取印刷代収入	18,080	93,000	
	受取印刷代収入	2,000	5,000	ガイドブック代
経費収入合計		38,831,200	34,650,000	
5.その他の事業から繰入金収入	繰入金収入	1,512,000	888,000	機関誌広告代・広告ページ印刷費
		1,512,000	888,000	
その他資金収入合計		1,512,000	888,000	
収入合計		40,343,200	35,538,000	
前期繰越収支差額		25,525,541	23,098,541	
合計		65,868,741	58,636,541	

支出の部 1

2007年度(平成19年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算

大科目	中科目	18年度予算	19年度予算	備考
1. 事業費 (1)腎臓病に関する知識の普及と予防等を促進する事業	移植キヤンペーン事業 都民の集い事業 機関誌発行事業 ホームページ管理事業 知識の普及事業	11,684,700 2,248,000 630,000 4,583,000 500,000 3,723,700	7,670,000 500,000 700,000 5,330,000 400,000 740,000	事務局員給与1名分含 バソコン周辺保守料金、HP管理諸費用 ブロッグ、青年部活動、患者会・施設訪問
(2)腎臓病患者の自立を支援するための相談	自立支援事業	1,500,000	1,600,000	事務局員給与1名分含
(3)腎臓病患者の医療体制の充実と福祉の向上を図る事業		200,000	130,000	
(4)関連する他団体との協同事業	都庁予算要請事業 都議会ヒアリング事業	150,000 50,000	100,000 30,000	都職員関係費 都議会関係費
(5)福祉移送相談・推進事業	国会請願事業 全腎協他に協力する事業	12,385,000 1,000,000 11,385,000	12,067,000 800,000 11,267,000	募金上納金 全腎協会費、真難連会費、活動費
(6)腎臓病患者の食事療法に資する事業	福祉移送事業 低たんぱく米の広報事業 小学校食育指導事業	100,000 100,000 350,000 300,000 50,000	50,000 50,000 230,000 200,000 30,000	
(7)腎臓病患者の災害対策事業	災害・緊急手帳作成事業 災害対策訓練事業		800,000 780,000 20,000	
事業費合計		26,219,700	22,547,000	

支出の部2

2007年度(平成19年度)予算 特定非営利活動に係る事業会計予算

大科目	中科目	18年度予算	19年度予算	備考
2. 管理費	給保料手当 事什光通印総会交租事慶 務器熱品家品 吊信運刷会議通公営 局交際課費	8,547,500 282,412 4,137,588 300,000 320,000 250,000 850,000 350,000 500,000 500,000 0 10,000 0 0	5,124,000 471,000 4,137,588 800,000 300,000 300,000 950,000 400,000 1,700,000 900,000 340,000 10,000 150,000 30,000	社会保険事業主負担分、その他団体傷害保険 パソコン・印刷機・コピー機リース代 名刺、事務用品 電話器リース代、メール便代、切手代、振込料他 コピー機使用料、印刷用紙代 議案集費、会場費 理事会費他 通勤定期代 講師源泉他 事務局お米代、ゴミ券、プリント交換代他
管理費合計		16,047,500	15,612,588	
3.退職給与積立預金繰入額		403,000	250,000	
その他資金支出合計	退職預金積立金支出	403,000	250,000	
予備費		100,000	0	
支出合計	予備費	42,770,200	38,409,588	
収支差額		-2,427,000	-2,871,588	
次期繰越収支差額		23,098,541	20,226,953	

19年度 その他の事業会計 収支予算(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	備考
【経常収入の部】			
広 告 料 収 入	1,408,000	1,570,320	年間契約8社
経常収入合計	1,408,000	1,570,320	
【経常支出の部】			
事 業 費	520,000	511,477	
機関誌「東腎協」の発行	520,000	511,477	広告ページ印刷費
経常支出合計	520,000	511,477	
経常収支差額	888,000	1,058,843	
【その他資金収入の部】			
一般会計より繰入金収入	0	73,710	
繰入金収入	0	73,710	
その他資金収入合計	0	73,710	
【その他資金支出の部】			
一般会計へ繰出し金	888,000	1,132,553	
繰入金支出	888,000	1,132,553	
その他資金支出合計	888,000	1,132,553	
当期収支差額	0	0	
前期繰越収支差額	0	0	
次期繰越収支差額	0	0	

2007年度理事候補(案)

No.	役職名	氏 名	患 者 会 名
1	会 長	榊原 靖夫	高中腎友会
2	副会長	木下 久吉	笹塚愛生クリニック患者友の会
3	副会長	戸倉 振一	森山友の会
4	事務局長	小関 盛通	柳原健腎会
5	会 計	軽部 和之	立川相互病院希望会
6	理 事	石井 虎二	新小岩クリニック友の会(船堀)
7	理 事	石山久美子	久野クリニック腎友会
8	理 事	井上 寧枝	吉祥寺あさひ腎友会
9	理 事	押山 大作	にこたま会
10	理 事	小野 誠	吉祥寺あさひ腎友会
11	理 事	菊地 貞夫	優人クリニック患者会
12	理 事	木村 妙子	上野しのばず会
13	理 事	黒田 文夫	板中腎友会
14	理 事	久保 正業	松和患者会新宿南口支部
15	理 事	小林 敬	町屋駅前クリニック腎友会
16	理 事	澤田 戴子	代々木病院友の会
17	理 事	須賀 春美	虎の門友の会
18	理 事	田中 助成	聖路加二ーレ会
19	理 事	蛭田 範博	新小岩クリニック友の会(新小岩)
20	理 事	古木 直之	鶴田クリニック友の会
21	理 事	吉澤 正雄	新橋青木クリニック腎友会
22	理 事	吉田 芳子	南大沢パオレ腎友会
23	監 事	篠原 栄一	中野クリニック腎友会
24	監 事	森 義昭	虎の門友の会
25	相談役	一ノ清 明	虎の門会分院
26	相談役	糸賀 久夫	松和患者会新宿南口支部
27	相談役	藤原 実	嬉泉病院二ーレ友の会
28	オブザーバー	岸里 悟	森山友の会
29	オブザーバー	桑原 俊博	あけぼの友の会
30	オブザーバー	田河内 乙	にこたま会
31	オブザーバー	中村 博	東京綾瀬クリニック腎友会

2007年度正会員名簿

No.	役職名	氏 名	患者会名	
1	正会員	萩野 和弘	愛和腎友会	○
2	正会員	高橋 初子	青葉病院腎友会	
3	正会員	鳥貴 克利	赤羽中央病院腎センター腎友会	○
4	正会員	宮本 保	昭島腎クリニックひまわり会	○
5	正会員	金井 仁	秋葉原腎クリニック腎友会	○
6	正会員	及川 一俊	あけぼの友の会	○
7	正会員	増賀 従男	あけぼのクリニック友の会	
8	正会員	上垣 保朗	阿佐谷すすき腎友会	○
9	正会員	浅見 正治	あすなろ会	
10	正会員	西村 竹俊	小豆沢病院透析友の会	○
11	正会員	安形 晃一	飯田橋クリニック腎友会	
12	正会員	渡辺 峰男	井口腎友会(足立区竹ノ塚)	○
13	正会員	戸嶋 美知夫	井口腎友会(足立区竹ノ塚)	○
14	正会員	安藤 しげ子	板中腎友会	
15	正会員	岡部 軍治	稲城市立病院腎友会	
16	正会員	吉田 滋彦	井の頭クリニック腎友会	
17	正会員	大久保明雄	今尾医院腎友会	
18	正会員	杉浦 健祐	入谷クリニック腎友会	
19	正会員	吉岡 ひろみ	上野しのばず会	○
20	正会員	中嶋 仁司	大島腎友会	○
21	正会員	蒲原 栄子	大森東クリニック腎友会	
22	正会員	大山腎友会	大山腎友会	
23	正会員	佐藤 歳夫	御徒町腎クリニック友の会	
24	正会員	矢浪 流	小笠原クリニック友の会	○
25	正会員	菊池 義久	織本病院腎友会	新○
26	正会員	友田恵三	菊川橋クリニック腎友会	
27	正会員	平川 廣	嬉泉病院ニーレ友の会	
28	正会員	吉田 悦男	北多摩病院腎友会	
29	正会員	木村 せい	北病院腎友会	
30	正会員	服部 みや子	吉祥寺あさひ腎友会	
31	正会員	菱沼 武志	吉祥寺あさひ腎友会	
32	正会員	渋谷 重雄	境南クリニック患者会	
33	正会員	篠田 喜代	貴友会王子病院腎友会	新○
34	正会員	伊藤 保雄	杏林腎友会	
35	正会員	松崎 正義	くにたち桜会	
36	正会員	高橋 國一	桑の実会	
37	正会員	川北 彰子	小池内科患者会小池会	○
38	正会員	金井 信憲	新江東橋腎友会	○
39	正会員	岩男 幸尚	国分寺こやま腎友会	○
40	正会員	藤山 久光	国分寺南口クリニック親光会	
41	正会員	本木 和明	幸町腎クリニック腎友会	○
42	正会員	相馬 久仁子	笹塚愛生クリニック友の会	○
43	正会員	細野 春江	三軒茶屋病院腎友会	○
44	正会員	菊地 典子	三軒茶屋病院腎友会	○

45	正会員	神保 和雄	十条賢和会	○
46	正会員	福田 龍美	松和患者会新宿南口支部	新○
47	正会員	前後 良信	松和患者会西新宿支部	新○
48	正会員	黒川 英彦	松和患者会かたア支部	○
49	正会員	橋本 良司	松和患者会かたア支部	○
50	正会員	安部 克明	新小岩クリニック友の会	
51	正会員	清水 国衛	新宿水明クリニック腎友会	○
52	正会員	佐藤 あき子	新橋青木クリニック腎友会	○
53	正会員	関口 礼子	腎研友の会	
54	正会員	高橋 繁太郎	腎研友の会	
55	正会員	高山 衛士	NPO法人 すずらんの会	
56	正会員	橋本 修一	すがわ相互診療所患者会いづみ	
57	正会員	寺師 盛幸	清湘会記念病院腎友会	
58	正会員	富永 ますみ	聖蹟さくら会	
59	正会員	柳下 征弘	聖蹟さくら会	
60	正会員	田中 新一	聖路加ニーレ会	○
61	正会員	柳澤 政義	成和腎クリニック友の会	
62	正会員	中島 信夫	高尾もみじ会	○
63	正会員	三河 勝実	高中腎友会	○
64	正会員	隅田 一巳	高松病院患者会	
65	正会員	北村 澄子	竹口病院腎友会	新○
66	正会員	中村 文子	立川北口駅前腎友会	
67	正会員	徳永 功	立川相互診療所希望会	
68	正会員	河内 垂登務	立花クリニック友の会	
69	正会員	中村 正彦	調布病院腎友会	○
70	正会員	渡邊 靖	調布東山病院腎友会	○
71	正会員	下島 正資	鶴田クリニック友の会	○
72	正会員	猪狩 奈美枝	帝京大学病院腎友会	○
73	正会員	寺田 光男	寺田病院腎友会	
74	正会員	渡辺 精二	東海病院ひまわり会	
75	正会員	池田 典幸	東京綾瀬腎クリニック腎友会	新○
76	正会員	会沢 常謙	東京共済病院腎友会	
77	正会員	中村 治兵衛	東京健生病院サボテン会	
78	正会員	岩崎 誠	東和病院腎友会	
79	正会員	上條 良友	虎の門友の会	○
80	正会員	大場 光伴	虎の門会分院	○
81	正会員	村井 靖治	中野クリニック腎友会	
82	正会員	下山田 守	長久保クリニック腎友会	
83	正会員	降旗 雄二	永山腎友会	
84	正会員	高橋 春児	にこたま会	○
85	正会員	関森 一雄	西口21友の会	
86	正会員	小野崎 勝	練馬・桜台クリニック患者会	○
87	正会員	中村 益巳	練馬・桜台クリニック患者会	○
88	正会員	内藤 富一	ノリ・メディカルクリニック腎友会	○
89	正会員	遠藤 洋一	羽村相互診療所たんぽぽの会	
90	正会員	清水 泰一	東高円寺フェニックス会	○
91	正会員	小川 正人	聖橋クリニック腎友会	○
92	正会員	鈴木 侯介	聖橋クリニック腎友会	○

93	正会員	宮城 文江	深川橋クリニック腎友会	
94	正会員	尾崎 治行	府中けやき会	
95	正会員	平塚 良夫	豊生会	
96	正会員	矢沢 輝之	望星田無友の会	○
97	正会員	片平 喜代子	町田慶泉病院腎友会	○
98	正会員	古川 富男	町屋駅前クリニック友の会	○
99	正会員	すみれ会	松村クリニックすみれ会	
100	正会員	藤田 亮一	みさと健腎会	
101	正会員	多田 可子	瑞江腎クリニック腎友会	
102	正会員	瀬賀 康平	三鷹北口クリニック腎友会	
103	正会員	野崎 順子	南大沢バオレ腎友会	○
104	正会員	大野 幸子	南千住病院河童会	
105	正会員	中島 哲夫	南多摩病院のばら会	
106	正会員	小堀 明人	南多摩病院のばら会	
107	正会員	二瓶 眞	武蔵境駅前クリニック腎友会	
108	正会員	堀 豊	村上医院ひまわり会	
109	正会員	池谷 匠	めじろ会(西澤クリニックめじろ会)	
110	正会員	宗像 聡之	森山友の会	新○
111	正会員	浦辺 是諒	谷中三和クリニック腎友会	○
112	正会員	田口 一郎	柳原健腎会	○
113	正会員	池崎 一彦	山田クリニック腎友会	
114	正会員	北爪 勇	湯島腎友会	
115	正会員	五十嵐 信康	優人クリニック患者会	○
116	正会員	大畑 ハナ	新小岩クリニック友の会(船堀)	
117	正会員	菅原 八重	代々木病院腎友会(桃井診療所)	
118	正会員	永井 康太郎	代々木病院腎友会(中野共立診療所)	
119	正会員	稲垣 正	東海病院ひまわり会(高野台支部)	
120	正会員	石川 美智子	青梅市立病院グループ	新○
121	正会員	酒詰 孝子	金町中央病院グループ	
122	正会員	磯崎 英世	中央サマリア病院グループ	
123	正会員	久保田 由美子	東葛クリニック小岩グループ	
124	正会員	渡辺 眞一	西クリニックグループ	
125	正会員	島田 孝司	東村山診療所グループ	
126	正会員	北川 有利子	豊田クリニックグループ	
127	正会員	池野茂久太	個人会員	
128	正会員	佐々木浩司	個人会員	
129	正会員	永井 聡	個人会員	
130	正会員	松沢 博	個人会員	
131	正会員	菱沼 武志	個人会員	
132	正会員	深瀬 祥子	個人会員	
133	正会員	古田 博重	個人会員	
134	正会員	山田 章	個人会員	

